

1 いまの押上北口について、これからの駅まえについて

いまの押上北口についてを聞いたところ、大事にしていきたいところや課題などが見えてきました。主な意見を紹介します。
また将来の“駅まえ”での望ましいアクティビティ（活動）については、日常的な風景に関する意見が多く出され、地域との繋がりを強く意識する意見が多く出されました。

大事にしていきたいところ

地域コミュニティのつながりが強い

- 人と人のつながりが強く、古き良き昔ながらの押上が残っている。
- 子どもから高齢の方まで幅広い住民がいることが魅力。

静かな住環境

- 鉄道北側は静かな住宅地なので、これからも住宅地としての環境を残していきたい。
- 静かな環境ながら、日中は親子が公園で遊んでいたりする光景がみられるのが良い。

東京スカイツリーへの眺望

- 東京スカイツリーの夜景はきれい。
- 東武鉄道本社前の道路から東京スカイツリーが真正面に見える。

課題

居住者・来訪者層に変化がみられる

- 最近ワンルームマンションや観光客向け宿が増えた。

みどり・広場が少ない/子育て環境が不足している

- みどりのある公園が遠く、駅付近に広場や緑が少ない。
- 木陰や休憩できる場所がない。

特徴がない

- 待合せの目印になる場所がない。
- 東京スカイツリーの裏側のように感じてしまう。

歴史を感じる場所がない

- 過去の歴史の記憶が残っていない。
- 神社はあるが、日常的にお参りしたり観たりできない。

望ましい駅まえのアクティビティ

< 日常の風景 >

地域の人々が利用する風景

- 大人や子ども、ママ友、高齢者、ビジネスマンなど、地域で生活する人たちが木陰のベンチで休んでいたたり、遊んでいたたり、ランチをしていたり、平日の昼間に日常的に利用する風景があると良い。
- 休日は、地域の住民が芝生等でゆっくりしていたり子どもが遊んでいたたり、下町らしさを感じられる駅まえが良い。



< 非日常の風景 >

地域イベントを行う場としての“駅まえ”

- 盆踊りなどの大きな催しものは年数回程度、開催できると良い。
- 平日や休日には、マルシェやマーケット、ライブ・ジャズイベントなど、小さなイベントを気軽に開催できると良い。

地域の人や店舗が出店するイベント

- 地域の店舗が出店する屋台やキッチンカーが出ていて、にぎわいのある風景があると良い。

